

福祉サービス第三者評価基準

【 共 通 版 】

H28年4月1日改定

評価対象 I 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

		自己評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
1	I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	(a)・b・c
<p>評価概要 法人の基本理念に基づき、「カリタスを生きる」を柱に3つの項目を立てた共通理念を掲げている。これは、年度ごとの事業計画冊子の頭に記載されており、全ての活動は理念に基づくものである。保護者には、年度初めの保護者会総会にて、事業所の理念と年度の活動についての説明を行っている。</p>		

I-2 経営状況の把握

		自己評価結果
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
2	I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	(a)・b・c
<p>評価概要 経営直結に値する月毎の利用数について、統計を取ることでニーズの把握とこれに応えるための事業内容についても検討し、近年の動きとしては、通常保育時間以上の延長保育をなくしている。又、学童保育事業を行った時期もある。</p>		
3	I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	(a)・b・c
<p>評価概要 経営環境・保育内容については、法人で統一された規定に基づいた運営を行っており、人材育成や人権擁護についても取り組んでいる。法人経営と職員育成の一環としてキャリアパス制度を取り入れている。</p>		

I-3 事業計画の策定

		自己評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	(a)・b・c
<p>評価概要 ●理念や保育方針実現に向けた中・長期計画は全職員で作成し、更に年間計画に繋がりを持っている。 ●経営については、法人本部と繋がっており、中長期計画については、各事業所の状況把握の上、調整を行っている。大規模工事についても法人が携わっている。</p>		
5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	(a)・b・c
<p>評価概要 ●事業計画に年間の予算計画も立て、時期を見て実施している。 この事業整備計画については、全職員周知の上、年間計画冊子に記載されており法人も承諾している。又、不意な事情で工事が必要な場合には、補正予算を立てて法人の把握の元に施行可能としている。</p>		

I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	Ⓐ・b・c
<p>評価概要</p> <p>●事業計画は、全職員で作成する事で、ビジョンとの繋がりや活動の目的に共通意識が持てている。又、月ごとの職員会議においても月毎の活動取り組み方法と目的確認を行うことで、職員全体の全体把握が出来る。(職員会議にて、全月の活動ふりかえりもしている。)</p>		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	Ⓐ・b・c
<p>評価概要</p> <p>●年間カレンダーを年度初めに保護者向けに配付し、園児の全ての行事と保護者参加の行事が色別で把握できるようになっている。又、月の行事予定・翌月の行事予定を掲示板に張り出している。</p> <p>●特別な保育内容については、子ども達の様子が分かる画像を入れた保育報告掲示も行っている。</p>		

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		自己評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	Ⓐ・b・c
<p>評価概要</p> <p>●PDCAサイクルを意識した活動が組織化されており、目的を持った取り組みが実施されている。</p> <p>●評価については、学期毎に個人・クラス年間として全体評価を行い次年度計画に繋げている。</p> <p>●第三者評価を法人から促され、H31.7月に実施予定</p>		
9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	Ⓐ・b・c
<p>評価概要</p> <p>●保育所としてのあるべき姿を追究し、改善・先進のために職員としての年間全体活動を実施しながら、互いの頑張りを認め合い、励みに出来るような計画実施に取り組んでいる。</p> <p>●苦情・相談から、園としての有り方を検討し全職員で行い、対策を立て実施している</p>		

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		自己評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	Ⅱ-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a・Ⓐ・c
<p>評価概要</p> <p>●事業所の組織図によって又、職務分掌によって園長の役割と責任について明確に表している。</p> <p>●平常時・災害時・不在時にも組織図をもって職員全体が行動できるよう周知・訓練されている。</p>		
11	Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a・Ⓐ・c
<p>評価概要</p> <p>●取引業者・行政関係者との話を進めるに当たっては、運営会議(主任会)・経理者との打ち合わせの上、交渉を進めることで、手順を踏んだ透明性のある動きを持っている。</p> <p>●職員・保護者に対する遵守すべきことについても意識を持ち、職員への周知の必要があることについては了解得た上、周知事項として伝えている。</p>		

II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
12	II-1-(2)-① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a・ b ・c
<p>評価概要</p> <p>●人格形成の上で最も大切な、乳幼児期の児童を預かる施設として、専門性を持った職員の働きがどれだけ重要で、楽しい職業であることを繰り返し伝えることで、前向きに業務に当たるよう多方面から促している。</p>		
13	II-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a・ b ・c
<p>評価概要</p> <p>●保育環境の安全とより良い環境を職員と共に考察し行動する事で、園児の保護と職員一致を図っている。</p> <p>●働きやすい職場作りを目指し、人員配置・環境整備への意識を持ち、必要に応じ整えている。</p>		

II-2 福祉人材の確保・育成

		自己評価結果
II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	II-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a ・b・c
<p>評価概要</p> <p>●安全・安心の保育における職員人材確保の重要性をもって職員採用を行い、新保育制度についての人材育成についても研修会に職員を派遣し、研修分かち合いをすることで園全体での向上に尽力している。</p>		
15	II-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	a ・b・c
<p>評価概要</p> <p>●法人統一の保育所分野におけるキャリアパス制度の取り組みを行っており、詳細に区分された自己評価項目により業務における施設から求められる基準が明確に理解することができるようになっている。</p> <p>●新保育指針に伴い、保育士は兼務役割業務による必須資格取得に尽力できるよう計画を立てている。</p>		
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	II-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	a ・b・c
<p>評価概要</p> <p>●就業規則により、当園で業務をする上での様々な項目からの職員保証を明確に提示している。この就業規則は、必要に応じ見直しがされ、法人理事会の承認後改定され差し替えられる。又、この就業規則の綴りは、職員が自由に閲覧できる場所に保管されている。</p>		
II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	II-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a ・b・c
<p>評価概要</p> <p>●全職員が個別目標を立て、一年間の特別意識を持って業務にあたっている。目標設定の内容適正については、6月に園長との個人面談によって摺合せ調整がなされ、中間の振り返りの見直し時期が設定され、年度間末の振り返りを行っている。(個人評価後、主任・園長の2名の効果者により総合評価実施)</p>		
18	II-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a・ b ・c
<p>評価概要</p> <p>●新保育指針に伴い、早急に乳児期における年齢ごとの全体的計画の見直しを行い、保護者が求める保育園の姿・あるべき姿等の検証を行い、これをベースに園全体の年間活動計画を立てた。学年ごとの保育の取り組みについても一貫性がある。</p>		

19	Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	㉠・b・c
<p>評価概要</p> <p>●新保育指針に伴い、それぞれが兼務する役割から来る必須科目の研修派遣を検討し、積極的に研修に派遣しており、全職員への報告会も設けることで、園全体の意識向上を狙っている。又、子育て支援のためのペアレントプログラムのアドバイザーに職員派遣を行い、年に1名指導資格取得を計画している。</p>		
Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
20	Ⅱ-2-(4)-① 実習生等の保育に関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	㉠・b・c
<p>評価概要</p> <p>●実習生の指導に当たっては、どの職員にも任せられる程に専門性を備えているため、どこの年齢を求められても安心して指導を任せることができる。受け入れ窓口は、一つにしており手順を整理し全体周知も徹底している。</p>		

Ⅱ-3 運営の透明性の確保

		自己評価結果
Ⅱ-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	Ⅱ-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	㉠・b・c
<p>評価概要</p> <p>●ホームページ活用により、法人理念・基本方針・保育園のビジョン/ミッション・デーリープログラム・年間行事・第三者委員とシステム・・・等の情報で日常の様子が伝わるよう工夫し伝えている。</p>		
22	Ⅱ-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a ㉡・c
<p>評価概要</p> <p>●事務・経理・取引等については、ルールが明確にされ、月毎に法人報告と確認がなされてる。事業所は法人による内部監査・法人は外部専門による監査を受け、透明性が高く管理されている。</p>		

Ⅱ-4 地域との交流, 地域貢献

		自己評価結果
Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	Ⅱ-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	㉠・b・c
<p>評価概要</p> <p>●「地域に開かれた事業」との法人理念をベースに、地域に根ざした事業となる繋がりを意識した活動や、地域資源への関心を育む活動(富国製糖見学・浜のクリーン活動)にも取り組んでいる。</p>		
24	Ⅱ-4-(1)-② ボランティア等の受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	㉠・b・c
<p>評価概要</p> <p>●ボランティア受け入れ担当配置により、窓口を一つに対応を行っている。年間の恒例として、中学・高等学校による職場体験学習の受け入れを、社会福祉第二種(保育所)の体験としてサポートしている。一般ボランティア受け入れもあり、地域に開かれた保育園となるよう努めている。</p>		
Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	Ⅱ-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a ㉡・c
<p>評価概要</p> <p>●社会資源として、発達支援事業との連携を大切に、専門機関を通したサポートを保護者と共に行うことで、より早く適した支援を行えるよう努めている。親子遠足・秋の遠足は、島の名所「あやまる岬観光公園」とし、親しみある場所としている。</p>		

II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	II-4-(3)-① 保育所が有する機能を地域に還元している。	a (b) c
<p>評価概要</p> <p>●育児講演会を開催する折、子育て支援一環として町立内保育園の保護者・職員への呼びかけを行い、講演会を実施したが、自園保護者のみの参加であった。他にも、子育て支援として毎年検討するが、地域に未就園児も確認されず、ニーズが無いようで企画に繋がらない。高齢者サロンを開いた時期もある。</p>		
27	II-4-(3)-② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	(a) b c
<p>評価概要</p> <p>●一時保育事業を行い専門性を活かした地域への福祉事業還元を行っている。この事業利用は、笠利町立の広範囲・観光旅行での児童預かり等であり、担当窓口を一つにする事で責任ある預かりに努めている。又、園の行事への誘いや地域行事参加にも意識を持ち、地域の中の事業所としての活動をしている。</p>		

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		自己評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した福祉サービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	(a) b c
<p>評価概要</p> <p>●新保育指針に伴い、子ども主体の保育として、発達や興味に合わせた保育追究に尽力している。 ●性差別への固定観については、保護者の対応を尊重しているが、自己確立年齢期に入る児童への配慮も考慮しないといけないのでは？と保護者側からのきっかけを掴んでの方向付も必要と思っている。</p>		
29	Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	a (b) c
<p>評価概要</p> <p>●子どものプライバシー保護について、あるべき姿は理解はしているが、見直しが必要である。 ●虐待防止を逆手から、子ども中心の保育について思案した実践目標を掲げることで、より質の高い保育を追求し、園全体での成長を図っている。</p>		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	(a) b c
<p>評価概要</p> <p>●年度始めの保護者総会にて、当園における重要説明事項について説明し、奄美市の要請により承諾書を得る事で、正式に保育が開始される胸を伝え、園の環境・設備・方針賛同の承諾書を取っている。施設見学についても必要に応じ対応し、途中入所の際も同じ承諾書を頂いている。</p>		
31	Ⅲ-1-(2)-② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	(a) b c
<p>評価概要</p> <p>●保育時間の変更は、利用者ニーズに沿うよう変更されており、近年の変更としては通常保育時間帯以上の延長保育を無くしている。変更を検討した際の保護者への報告は、少なくとも半年前とし、重要説明事項に含まれており承諾を得ている。</p>		
32	Ⅲ-1-(2)-③ 保育所等の変更や家庭への移行等にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	(a) b c
<p>評価概要</p> <p>●環境変化による児童の精神的負担を最小限に抑え保育の継続性を図るために、園独自の引き継ぎ児童要綱書を移行の際に先方施設に届けている。又、保護者への園での様子報告を行い、成長を応援していることを伝えることで、精神面での繋がりがあがることを伝え励ましている。</p>		

Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。		
33	Ⅲ-1-(3)-① 子ども満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a・ b ・c
<p>評価概要</p> <p>●発達や季節に合わせた活動計画をたてる事で、子ども達が主体的に取り組める満足ある活動の得られる保育活動を繰り広げている。保護者には、年に一度の保護者総会・2回の個人面談と、日々の送迎時の短い時間も交流の時間としている。(面談にて、園への要望伺いをしている。)</p>		
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a ・b・c
<p>評価概要</p> <p>●苦情解決委員・第三者委員を設置し、利用者に説明をしている。苦情解決委員の連絡先については、保護者がいつでも確認できるよう園舎テラスに年間を通じて掲示している。又、玄関に意見箱が設置され、簡易的な書式であり、匿名了解となっている。※担当により月一回意見箱確認</p>		
35	Ⅲ-1-(4)-② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a ・b・c
<p>評価概要</p> <p>●年度始めの半月間は、苦情解決のシステムのフローチャートと、委員の氏名(連絡先)の表の2枚を掲示し、周知・理解を図っている。意見箱は、玄関の入り口に設置され、人目に付かず投函しやすくなっている。又、意見書を添えているが、用紙についても自由である事を伝えている。</p>		
36	Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a ・b・c
<p>評価概要</p> <p>●保護者：担任との引き継ぎを連絡帳を通して、全園児が行っている事で気になる事や疑問点など、その都度やり取りを行うことで、一貫した子どもとの関わりと共通認識が図られている事と思われる。連絡帳の中でも、気になる事などの記載に周知・報告が必要なことは、園全体で改善を図っている。</p>		
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a・ b ・c
<p>評価概要</p> <p>●子どもたちの、安心・安全な保育と環境設定は基本とし、危険を察知した場合の対応については、速やかであると思われるが、リスクマネジメント体制の弱さがある。</p>		
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a ・b・c
<p>評価概要</p> <p>●感染症拡大防止の為、感染症の診断を受けた時には速やかに園に報告するよう保護者へ協力を依頼し、担当職員により保護者向けに状況発信をし、徴候を認めた場合に速やかに病院受診を勧めることができるようにしている。感染症専用ボードを設置し、保護者に周知されている。</p>		
39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a ・b・c
<p>評価概要</p> <p>●災害時における避難経路と避難場所を全職員・全保護者が把握している。非難口・非難場所の点検管理を定期的に行い、避難時に持ち出す所持品・備蓄品についても担当を決め、管理されている。又、毎月行われる避難訓練は、年間計画を立てる際に見直しがされ、より高い安全と安心の追及に努めている。</p>		

Ⅲ－２ 福祉サービスの質の確保

		自己評価結果
Ⅲ－２－（１） 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
40	Ⅲ－２－（１）－① 提供する保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	Ⓐ・b・c
評価概要 ●日常の実際的な保育については、一貫性の流れを持って計画が立てられており、柱となるものは、全体的計画となり、更に遡ると理念に結び付く。		
41	Ⅲ－２－（１）－② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a・Ⓑ・c
評価概要 ●保育計画と実施に対する振り返りについては月末、保育の振り返りについては学期末に振り返りを行い、日々を重ねるだけでなく、計画と現状を見つめる保育の見直しに繋がることも大きなポイントとしている。		
Ⅲ－２－（２） 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
42	Ⅲ－２－（２）－① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	Ⓐ・b・c
評価概要 ●保育活動・児童の個別計画等、計画を立てた取り組みについては、振り返り（評価）を行うことで、現状把握を行ない、その時点から次の計画へと関わりの繋がりを持っている。		
43	Ⅲ－２－（２）－② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	Ⓐ・b・c
評価概要 ●指導計画の見直しは、計画期間の末日に行っている。評価・見直しを行うことで、計画の適性や現状分析がなされ、無理なく次の計画への繋がりを持つことができる。		
Ⅲ－２－（３） 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
44	Ⅲ－２－（３）－① 子どもに関する保育の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	Ⓐ・b・c
評価概要 ●年齢別にそれぞれの書式で、統一された記録を行ない、決められた期日に提出がなされている。 ●書式については、毎年見直しを行うことで記録効率と成長把握の分かり易さを追求している。 ●ケースカンファレンスを行い、周知が必要な児童については、全体把握がなされている。		
45	Ⅲ－２－（３）－② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	Ⓐ・b・c
評価概要 ●児童に関する記録については、定められた保管庫に施錠をもって管理され、全職員に周知されている。又、鍵の管理についても全職員が把握し、必要時に取り出し確認ができる。 ●個人情報印刷物に対しては、機密文書廃棄・シュレッター処理を行っている。		

福祉サービス第三者評価基準 【 保育所版 】

(様式2)

〔H28改訂版〕

第三者評価内容評価基準（保育所版）

A-1 保育内容

A-1-(1) 保育課程の編成		自己評価結果
A① A-1-(1)-①	保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	Ⓐ・b・c
<p>評価概要</p> <p>理念や目標は、何度も繰り返し全員で理解を深めるように取り組みながら自分たちの園のカラーを大事にして必要に応じた保育になるようにしている。</p>		
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開		自己評価結果
A② A-1-(2)-①	生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	Ⓐ・b・c
A③ A-1-(2)-②	一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a・Ⓑ・c
A④ A-1-(2)-③	子どもが基本的な生活習慣を身につけることのできる環境の整備、援助を行っている。	Ⓐ・b・c
A⑤ A-1-(2)-④	子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	Ⓐ・b・c
A⑥ A-1-(2)-⑤	乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	Ⓐ・b・c
A⑦ A-1-(2)-⑥	3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	Ⓐ・b・c
A⑧ A-1-(2)-⑦	3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	Ⓐ・b・c
A⑨ A-1-(2)-⑧	障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・Ⓑ・c
A⑩ A-1-(2)-⑨	長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・Ⓑ・c

	<p>A⑪ A-1-(2)-⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。</p>	<p>Ⓐ・b・c</p>
<p>評価概要</p> <p>A② A-1-(2)-①について 安心、安全を十分に考慮して活動できるように工夫している。</p> <p>A③ A-1-(2)-②について 子ども一人ひとりへの適切な関わり方へは十分配慮し、意識して取り組もうとしているが、まだ十分ではない。</p> <p>A④ A-1-(2)-③について 年齢に応じた取り組みをする中で一人ひとりに応じた援助を心がけている。</p> <p>A⑤ A-1-(2)-④について 異年齢の子どもが一緒に過ごせるように配慮し、子ども同志の関わりの中で思いやりの心が育つよう働きかけている。</p> <p>A⑥ A-1-(2)-⑤について 一人ひとりに応じた生活リズムの中で安心して過ごすことが出来るように配慮し、家庭との連携をしっかりとりながら成長を見守っている。</p> <p>A⑦ A-1-(2)-⑥について 保育士の人数も十分確保し、安全に活動できる環境をつくり、保育内容の工夫にも取り組んでいる。</p> <p>A⑧ A-1-(2)-⑦について 遊びや学びの中で社会的ルールの理解が持てるように配慮している。又、子どもの感性を活かした保育が展開されるよう様々な分野の体験ができる場の提供をしている。</p> <p>A⑨ A-1-(2)-⑧について 子どもへの対応は保健師と連携を図りながら専門性を深めるように取り組み始めている。</p> <p>A⑩ A-1-(2)-⑨について 長時間になる子どもの年齢の幅があり、その時々の様子を見ながら内容や方法をもう少し工夫出来る点もあると思う。</p> <p>A⑪ A-1-(2)-⑩について 保育内容の延長上の事が小学校との接続となるよう配慮を行っている。</p>		
<p>A-1-(3) 健康管理</p>		<p>自己評価結果</p>
	<p>A⑫ A-1-(3)-① 子どもの健康管理を適切に行っている。</p>	<p>Ⓐ・b・c</p>
	<p>A⑬ A-1-(3)-② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。</p>	<p>Ⓐ・b・c</p>
	<p>A⑭ A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。</p>	<p>Ⓐ・b・c</p>
<p>評価概要</p> <p>A⑫ A-1-(3)-①について 子どもの健康管理、健康状態の把握に努めているが、マニュアル作成等は、まだ完全でない。</p> <p>A⑬ A-1-(3)-②について 健康診断の結果報告はしっかりできている。フッ素洗口、歯磨きもおこなっている。</p>		

A⑭ A-1-(3)-③について 除去食が必要な場合も代替え食を提供したり、分かりやすく表示し、取り間違いがないよう徹底している。		
A-1-(4) 食事		自己評価結果
A⑮ A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。		㉑・b・c
A⑯ A-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。		㉑・b・c
<p>評価概要</p> <p>A⑮ A-1-(4)-①について 保護者への献立の提供や、毎日の実物の給食提示などを通して、親子で楽しみにしている様子がみられ、食育活動につながっている。</p> <p>A⑯ A-1-(4)-②について 行事食、郷土食にも取り組み楽しく食事ができている。喫食ノートを活用し日々の様子も把握してる。</p>		

A-2 子育て支援

A-2-(1) 家庭との緊密な連携		自己評価結果
A⑰ A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭と連携を行っている。		㉑・b・c
<p>評価概要</p> <p>意見箱等を置き、保護者の思いや意向を反映できるよう努めている。送迎時や連絡ノートを活用したり、保護者面談等2回行って信頼関係を築き、情報共有を行っている。</p>		
A-2-(2) 保護者等の支援		自己評価結果
A⑱ A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。		㉑・b・c
A⑲ A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。		㉑・b・c
<p>評価概要</p> <p>A⑱ A-2-(2)-①について 保護者が気軽に相談できる関係づくりに努めており、職員間での情報交換もやっている。</p> <p>A⑲ A-2-(2)-②について 子どもの様子、保護者の様子で気になる事は、些細な事でも保育者で共有し見守るようにしている。</p>		

A-3 保育の質の向上

A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）		自己評価結果
A⑳ A-3-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。		㉑・b・c
<p>評価概要</p> <p>保育目標を設定し、半年また、一年を通しての自己評価を行い、保育の改善に努めている。また、キャリアアップの導入で専門性に取り組み、向上に努めている。</p>		